



ムーディーズ、日本高速道路保有・債務返済機構が承継した債券の格付けを確認

総額約 210 億ドルの債務を対象として

2005 年（平成 17 年）10 月 3 日、東京、ムーディーズ・インベスターズ・サービスは、日本道路公団（道路公団）と阪神高速道路公団（阪神公団）が発行し、10 月 1 日付で日本高速道路保有・債務返済機構（機構）が承継した自国通貨建ての無保証債（財投機関債）に対する格付け A2 を確認した。また、道路公団が発行し、同様に機構が承継した外貨建て政府保証債の格付け Aaa も確認した。格付けの見通しは共に安定的。

同時に、道路公団と阪神公団が 9 月 30 日をもって解散したため、これらに対する A2 の発行体格付けを取り下げた。

政府は、道路公団と阪神公団を含む道路関係特殊法人四公団を再編し、機構が四公団の道路資産と関連債務を承継した。機構は道路資産を保有し、新たに設立された地域別高速道路会社に賃貸して債務を返済する。

新たな枠組みにおいても、リファイナンスのための政府保証の付与も含めて、政府は機構の債券保有者を適切に保護していくとムーディーズは考えている。政府は今後も機構への関与と業務の監督を継続していく根拠と意思を保持し、法制上の適切な保護を提供していくと思われる。

機構に対する格付けは、ムーディーズの政府系発行体の格付け手法に従って、以下の要素を反映している。

ベースライン信用評価：3（1 から 6 までのスケールで、1 が最も低リスク）

日本政府の自国通貨建債務格付け A2、および外貨建債務格付け Aaa

サポートレベル：高い

デフォルト連関：高い

ベースライン信用評価の「3」は、機構の債券保有者の立場を適切な方法で支える強い意向を日本政府が今後も保持し、制度上、規制上の枠組みを適切に維持することで、機構の業務およびリファイナンスのリスクが低く抑えられるとの見解に基づいている。

「高い」サポートレベルには、高速道路網の運輸インフラとしての経済的重要性、財政投融资の対象で独立行政法人としての機構の位置づけ、予算の承認その他行政上、政策実行上の政府の関与などが考慮されている。

「高い」デフォルト連関には、機構の資金調達に、政府資金や政府の信用力に依存する構造になっていることが反映されている。

日本高速道路保有・債務返済機構は、道路関係四公団再編の一部として、2005年10月1日に新たに独立行政法人として設立された。高速道路資産に関連する債務を、45年以内に返済することになっている。

以上